

ガスヒートポンプエアコン

納入仕様書

S形 室内ユニット

別売部品（床置プレナム形）

製品名

御提出先

御納入先

年 月 日 提出

受領印	/	/	/

仕様と据付
(床置プレナム形 S1/S2)

●自然気化式加湿器 (RH-EN30E・45E1・45E・90E)

■仕様

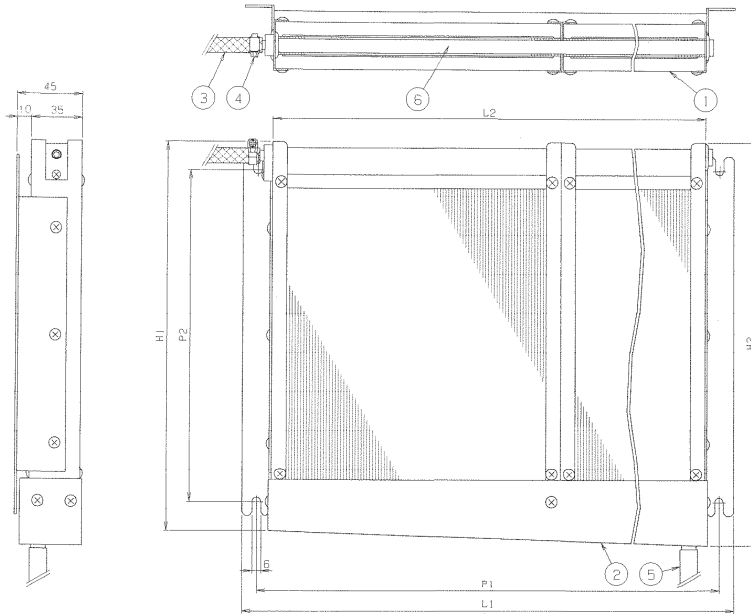
製品名		気化式加湿器			
適用機種		224形		280形	
加湿器品番 (RH-)		RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E
加湿性能 (kg/h)		3.0	4.5	4.5	9.0
給水量 ^{*1} (L/h)		8.3~9.0	18.4~20.0	18.4~20.0	29.8~32.6
圧力損失		コイル面風速 3m/s 以下の時 10Pa以下			
電源電圧		単相 AC200V 50/60Hz			
定格消費電力		10W			
本体質量(重量)(kg)		3.0	3.5	3.5	5.5
使用条件	周辺温湿度	加湿器本体 : 5~60℃ 90%RH 以下給水ユニット : 5~40℃ 80%			
	給水水質	RH以下水道法水質基準に準ずる飲料水			
	給水圧力	0.05~0.5MPa			
	給水温度	5~40℃			
備考		*1) 給水量は給水圧力範囲 (0.05~0.5MPa) において、0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。			
梱包内容		<p>●加湿器本体梱包</p> <p>①加湿器本体 1台</p> <p>②給水ホース(φ6×φ11×1.5m) 1本</p> <p>③排水ホース(φ8×φ12×2m) 1本</p> <p>④給水ホース用ホースバンド 2ヶ</p> <p>⑤給水軟銅管(φ6.35×2m) 1本</p> <p>⑥給水継手(R1/2) 1ヶ</p> <p>⑦取付ブラケット固定金具 2ヶ</p> <p>⑧取付説明書 1冊</p> <p>●給水ユニット梱包</p> <p>⑨給水ユニット 1ヶ</p> <p>⑩給水ユニット固定金具 1ヶ</p> <p>⑪取付ビス 1式</p> <p>●取付ブラケット梱包</p> <p>⑫取付ブラケット(取付ビス) 1式</p>			

・自然気化式加湿器とヒーター(電気・温水・蒸気ヒーター)との組合せはできません。

・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。

公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

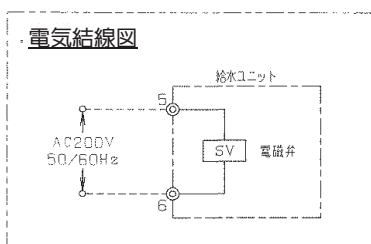
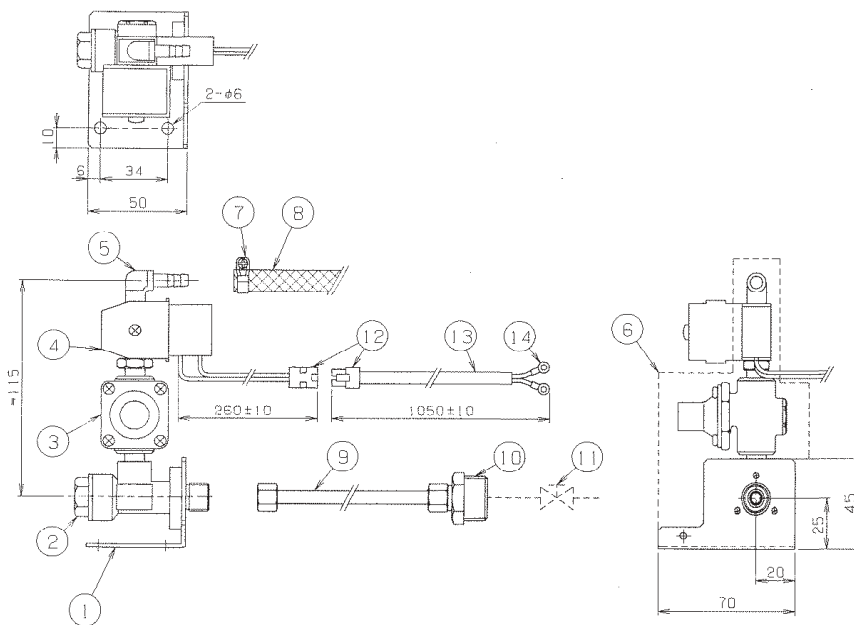
■加湿器本体外形寸法図：RH-EN30E・45E1・45E・90E



適用機種	加湿器品番	L1	L2	H3	H2	P1	P2
224形	RH-EN30E	440	400	270	280	420	230
	RH-EN45E1	640	600	270	285	620	230
280形	RH-EN45E	640	600	270	285	620	230
	RH-EN90E	940	900	345	365	920	305

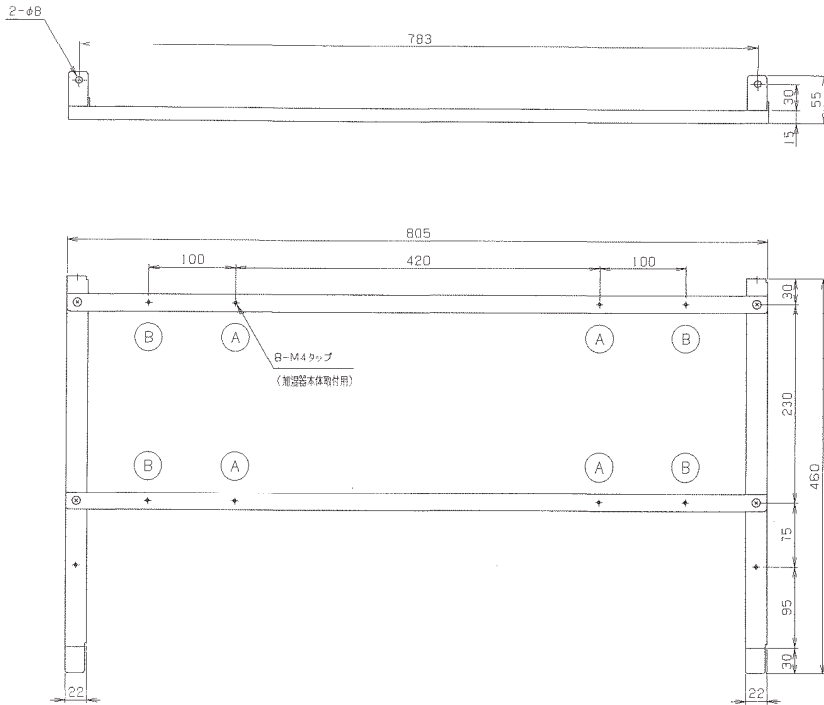
番号	部品名	仕様
①	加湿モジュール	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	φ6×φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	φ11×φ16×2m
⑥	給水ヘッダ	銅管

■給水ユニット外形寸法図：RH-EN30E・45E1・45E・90E



番号	部品名称	仕様	番号	部品名称	仕様
①	取付板	SGCC t 2	⑧	給水ホース	φ6×φ11 1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	φ6.35 2m
③	減圧弁	MAA-00A0-23	⑩	給水継手	R1/2
④	電磁弁	MAA-00A0-26	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	
⑥	断熱材		⑬	接続コード	VCTF0.75mm ² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN30E・45E1用

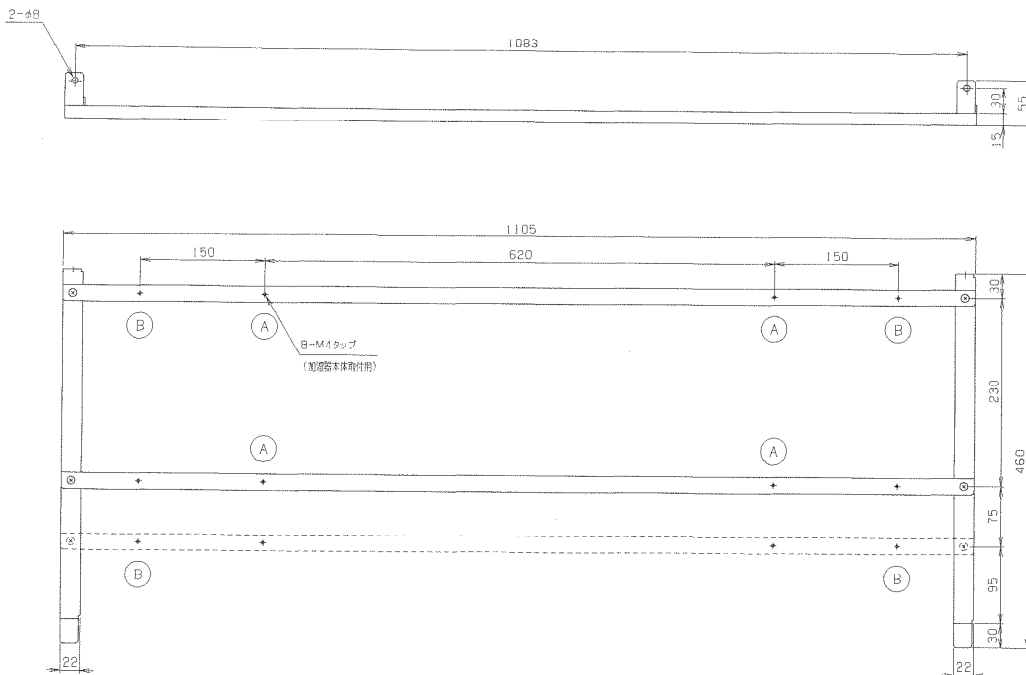


- ・ブラケット : SGCC t 2
- ・付属ビス : M4 (ブラケット組立)
加湿器取付用
M6 (ブラケット固定用)

※現地組み立てとなります。(ビス4本使用)
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、
ユニット内に取り付けてください。

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
224形	RH-EN30E	Ⓐ 4カ所
	RH-EN45E1	Ⓑ 4カ所

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN45E・90E用



- ・ブラケット : SGCC t 2
- ・付属ビス : M4 (ブラケット組立)
加湿器取付用
M6 (ブラケット固定用)

※現地組み立てとなります。(ビス4本使用)
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、
ユニット内に取り付けてください。
※図はRH-EN90Eを取り付ける状態を示します。
RH-EN45Eを取り付ける際は、下部ステ-を点線位置にしてください。

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
280形	RH-EN45E	Ⓐ 4カ所
	RH-EN90E	Ⓑ 4カ所

■取付方法 :RH-EN30E・45E・45E1・90E

● 自然気化式加湿器使用説明

1.概 要

1-1. 加湿器のしくみとはたらき

●RH-ENタイプは、床置形パッケージエアコン室内機のコイル2次側に取り付け、コイルを通過した暖房空気を取り入れて濡れた加湿材を通過させることにより水を気化して加湿する方式の気化式加湿器です。

給水は減圧弁と給水用電磁弁の組み合わせによりエアコンの運転に連動して自動的に行われ、給水圧力に左右されることなく安定した給水量を保ちます。また、加湿量プラス α の給水量を流すことにより加湿材の自己洗浄機能を持たせており、加湿材に付着する汚れを含んだ余剰水はドレンとして排水されます。

1-2. 仕 様

製品名	気化式加湿器(床置形パッケージエアコン用)			
適用機種	224形		280形	
機種名	RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E
標準加湿量	3.0kg/h	4.5kg/h	4.5kg/h	9.0kg/h
給水量 (*1)	8.3~9.0kg/h	18.4~20.0kg/h	18.4~20.0kg/h	29.8~32.6kg/h
能力	コイル面風速	2.5m/s		
条件	通過空気温湿度	40℃・15%RH		
定格電源	単相 AC200V 50/60Hz			
定格消費電力	10W			
本体質量(重量)	3.0kg	3.5kg	3.5kg	5.5kg
使用条件	周囲温湿度	加湿器本体：5~60℃ 90%RH以下 給水ユニット：5~40℃ 80%RH以下		
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水		
	給水圧力	0.05~0.5MPa(0.5~5.0kg/cm ²)		
	給水温度	5~40℃		
備考	*1)給水量は給水圧力範囲(0.05~0.5MPa)において、0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。			

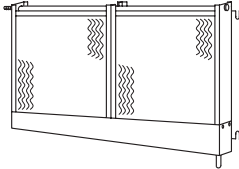
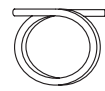


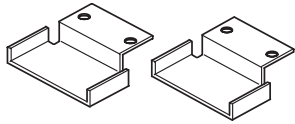
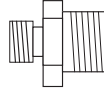
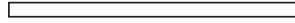

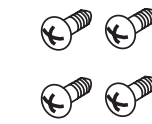
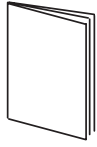
2. 取 付

2-1. 付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

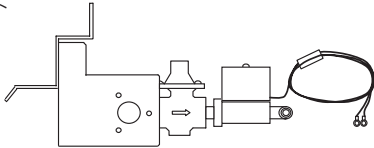

・加湿器本体梱包

部品名称	①加湿器本体……………1台	⑥給水継手(R1/2)……………1ヶ
	②給水ホース(半透明、1.5m)……………1本	⑦軟銅管(Φ6.35×2m)……………1ヶ
	③排水ホース(黒色、2m)……………1本	⑧リングナット、真鍮リング……………各2ヶ
	④ホースバンド……………2ヶ	⑨固定金具取付ビス(Φ4)……………4本
	⑤取付ブラケット固定金具……………2ヶ	⑩取扱説明書……………1部

①加湿器本体	②給水ホース	③排水ホース	④ホースバンド	⑤取付ブラケット 固定金具
				
⑥給水継手	⑦軟銅管	⑧リングナット、真鍮リング	⑨取付ビス(Φ4)	⑩取扱説明書
				

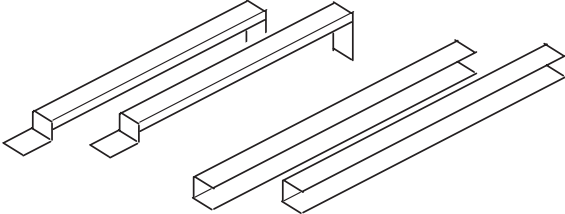
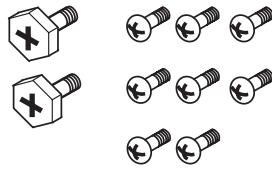
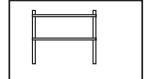
・給水ユニット梱包

部品名称	①給水ユニット……………1台	②取付ビス(Φ4)……………2本
------	----------------	------------------

①給水ユニット	②取付ビス(Φ4)
	

・ブラケット梱包

部品名称	①ブラケット……………一式	③取付ビス(M4)……………8本
	②取付ビス(M6)……………2本	④外形図……………1枚

①ブラケット	②③取付ビス(M6,M4)	④外形図
		

2-2. 取付上の注意事項

2-2-1. 加湿器本体の取付

(1) 図-1のように取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。RH-EN90Eの場合はブラケットを破線の位置にして組み立ててください。

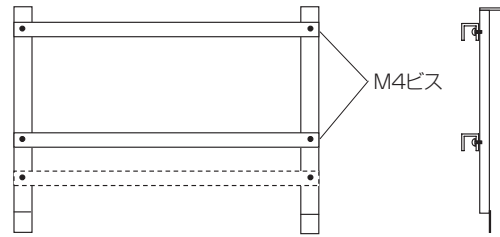


図-1 取付ブラケットの組立

(2) 図-2のように組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。

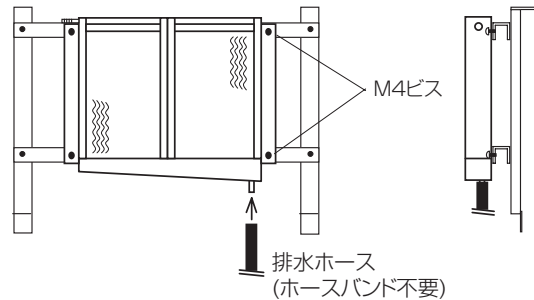


図-2 加湿器本体の取付

(3) 加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。このときホースバンドは不要です。

(4) パッケージエアコン室内機の吸込口および上部前面パネルを外して、図-3のように室内機のコイル2次側に組み立てた加湿器本体を組み込みます。

加湿器取付後にパッケージエアコンの輸送などがある場合には、コイルフランジにブラケット固定金具を取付け、取付ブラケット下部がその固定金具に収まるように取付ブラケットを面に沿ってスライドさせてください。また、取付ブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。

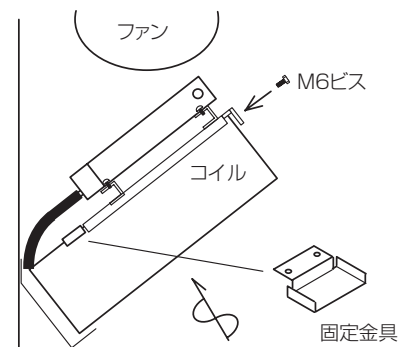


図-3 加湿器本体の組み込み

(5) 加湿運転中排水ホースからは常時少量のドレン水が出ますので、確実に排水が行われるよう排水ホースを適度な長さにカットし、ホース先端がドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。

2-2-2. 給水ユニットの取付

- (1)ビス2本を使用してサーモスタット固定金具の横に給水ユニットを取付けてください。(図-4)

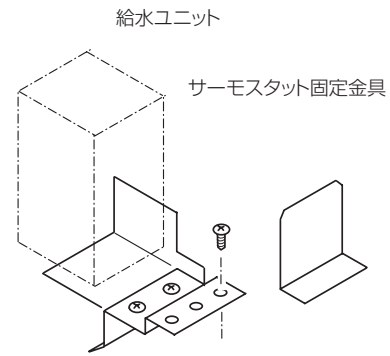


図-4 給水ユニットの取付

2-2-3. 給水ホース／給水軟銅管の接続

- (1)加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。
- (2)図-5のように給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホースに差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際に給水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。
- (3)給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N・m(100kgf/cm)程度としてください。

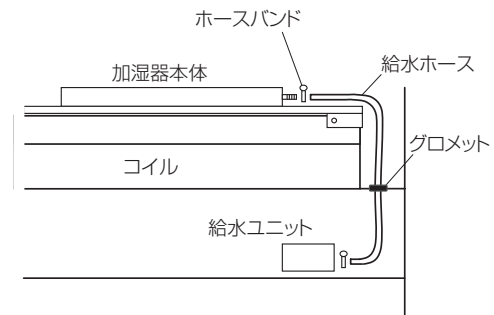


図-5 給水ホース／給水軟銅管の接続

注) 軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。

- (4)エアコン外部での給水軟銅管と現地の給水配管との接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して**必ず配管のフラッシングを実施してください。**

2-2-4. 給排水配管について

- 給水配管には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- **給水サービス弁(現地手配)**を必ず各加湿器ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

2-2-5. 電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコン制御盤内の端子台5、6番に接続してください。

3. 運 転

3-1. 施工後はじめでの運転

- 給水配管に設けてある給水サービス弁が開いていることを確認してください。
- エアコンを暖房運転すると、加湿器が自動的に運転します。

3-2. 日常の運転管理

- 加湿器の運転はエアコンに連動しますので、加湿器の運転スイッチ等は特に設けていません。

3-3. 加湿休止期の処置

- 加湿のオフシーズンには、給水配管に設けてある給水サービス弁を閉めてください。
- シーズンオフ時およびシーズンイン時には、後記「4. 保守点検」を参照してそれぞれ必要な保守作業を必ず実施してください。
- シーズンイン時には忘れずに給水サービス弁を開け、試運転を行って漏水の無いことを確認してください。

4. 保守点検

4-1. 作業上の留意点

- 加湿器を正常に運転させるため、保守点検作業は必ず実施してください。
- 作業にあたっては、安全に十分ご配慮ください。
- 工具類は適正サイズのものを使用し、締め過ぎ・締め不足にご注意ください。
- 部品交換の際は必ず純正部品をご使用ください。

4-2. 保守点検作業一覧

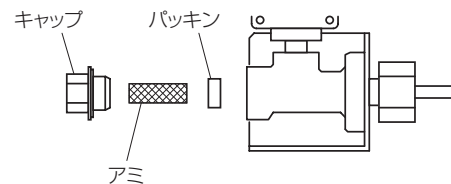
作業内容	作業時期	必要工具など
(1)給水ストレーナ掃除	・運転開始後1～2日目 ・シーズンイン時 ・その他汚れに応じて適宜	モンキーレンチ(125mm程度)
(2)給水配管のフラッシング	・施工後 ・シーズンイン時	モンキーレンチ(125mm程度) ウエスなど
(3)加湿材洗浄	・シーズンイン時 ・その他汚れに応じて適宜	ブラストドライバ 洗浄剤(家庭用酸素系漂白剤) 洗浄用容器(加湿材が入るもの)
(4)給水ヘッド水抜き	・シーズンオフ時	ブラストドライバ

4-3. 保守点検作業要領

(1)給水ストレーナ掃除

■ 必要工具：モンキーレンチ(125mm程度)

- エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。
- エアコンの吸込口を開けてください。
- 給水ストレーナのキャップを外してください。筒状のアミが出てきます。
- アミの内側を掃除し、きれいな水で洗ってください。
- 元通りセットしキャップを取り付けてください。※キャップ締付トルク：5～10N・m
- 給水サービス弁を開けて通水し、漏水のないことを確認してください。



(注)シーズンオフ時には、確認後、給水サービス弁を閉めてください。

- エアコンの吸込口を元通りにしてください。

(2)給水配管のフラッシング

■ 必要工具：モンキーレンチ(125mm程度)

- エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。
- エアコンの吸込口を開けて、給水ストレーナのキャップを外してください。筒状のアミが出てきます。
- 給水サービス弁を徐々に開けて放水します。水がきれいになるまで十分に放水してください。

(注)給水サービス弁は数回にわけて徐々に開けてください。開きすぎると水が飛散します。

- 給水ストレーナから取り出したアミを元通りセットしキャップを取り付けます。アミが汚れている場合は掃除してください。※キャップ締付トルク：5～10N・m
- 給水サービス弁を開けて通水し、漏水のないことを確認してください。

(注) 運転開始まで期間がある場合は、確認後、給水サービス弁を閉めてください。

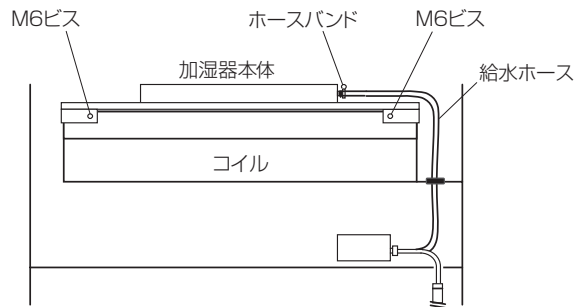
- エアコンの吸込口を元通りにしてください。

(3) 加湿材洗浄

この洗浄は目に見えている汚れを落とすものではなく、親水性(吸水性)が落ちた加湿モジュールに再度、親水性を復活させて、加湿能力を回復させるためのものです。

■ 必要工具：プラスドライバ、洗浄剤(家庭用酸素系漂白剤)、洗浄用容器(加湿材が入るもの)

- エアコンの運転を停止してください。
- エアコンの吸込口および上部前面パネルを開けてください。
- 加湿器本体に接続している給水ホースのホースバンドをゆるめ、ホースを抜いてください。
- 取付ブラケットを固定しているM6ビス2本を外し、加湿器本体を取付ブラケットごとエアコンから外してください。
- 加湿器本体を固定しているM4ビス4本を外し、加湿器本体を取付ブラケットから外してください。



(注) 加湿材のステンレスケースは絶対に分解しないでください。

- 洗浄用容器の中に加湿材を浸せる量の洗浄液を作ります。家庭用酸素系漂白剤を「シミ抜き」程度の濃さに希釈してください。
- 加湿材を洗浄液の中に浸し、30分程度つけ置きしてください。
- つけ置きした後、流水にて十分に水洗いを行ってください。
- しばらく静置して水気を落としてから、元通りに組み付けてください。

(注) 洗浄しても吸水性が回復しない場合は新しい加湿材と交換してください。

- 給水ホースは加湿器本体のホース口に差し込み、ホースバンドでしっかり固定してください。
- 給水サービス弁を開けて通水してください。

(注) 運転開始まで期間がある場合は、給水サービス弁を閉めてください。

- エアコンの吸込口および上部前面パネルを元通り取り付けてください。

(4) 給水ヘッダ水抜き

■ 必要工具：プラスドライバ

- エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。
- エアコンの吸込口を外してください。
- 給水ユニットに接続している給水ホースのホースバンドをゆるめて給水ホースを外し、給水ホース内および加湿器本体内蔵の給水ヘッダ内に残っている水を抜きます。
- 残水を抜いた後は元通り給水ユニットに給水ホースを接続し、ホースバンドでしっかり固定してください。

5. 故障時の処置

5-1. 故障と思われる前に

● 加湿器が運転しない場合、必ずしも故障が発生しているとは限りません。故障と思われる前に、以下の項目をご確認ください。

- 給水サービス弁は開いていますか？
- 元電源はONになっていますか？
- エアコンは暖房運転していますか？

5-2.故障の原因と処置

状態	原因	処置
運転しない	正しい電圧AC200Vが供給されていない	正しい電源を供給する
	加湿器を組み込んでいる空調機が停止している	
給水しない	給水サービス弁が閉まっている	給水サービス弁を開ける
	給水ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
	加湿器の電磁弁コードが外れている	ソケット・端子台の接続を確認する
	給水用電磁弁の故障	電磁弁を取り替える
	減圧弁の故障	減圧弁を取り替える
加湿不足	給水ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
	給水圧力が低く給水量が不足している	給水圧力を調整する
	加湿モジュールが汚れて吸水性が悪い	洗浄または交換する
漏水	配管接続部からの漏水	増締めする
	給水管への結露	断熱処理を施す
	排水不良	修正する
	通過風量が使用条件範囲を超えている	風量を調整する
異常音	給水圧力が使用条件範囲を超えている	給水圧力を調整する
	電磁弁のうなり音	電磁弁を取り替える
	減圧弁の振動音	配管内のエア抜き
異臭	水質が悪い	加湿モジュールを洗浄または交換すると同時に水質をチェックし改善する
	加湿モジュールがひどく汚れている	洗浄または交換する
	ドレンパン、配水管などが汚れている	掃除する

●自然気化式加湿器 (RH-EN60T・120T)

■仕様

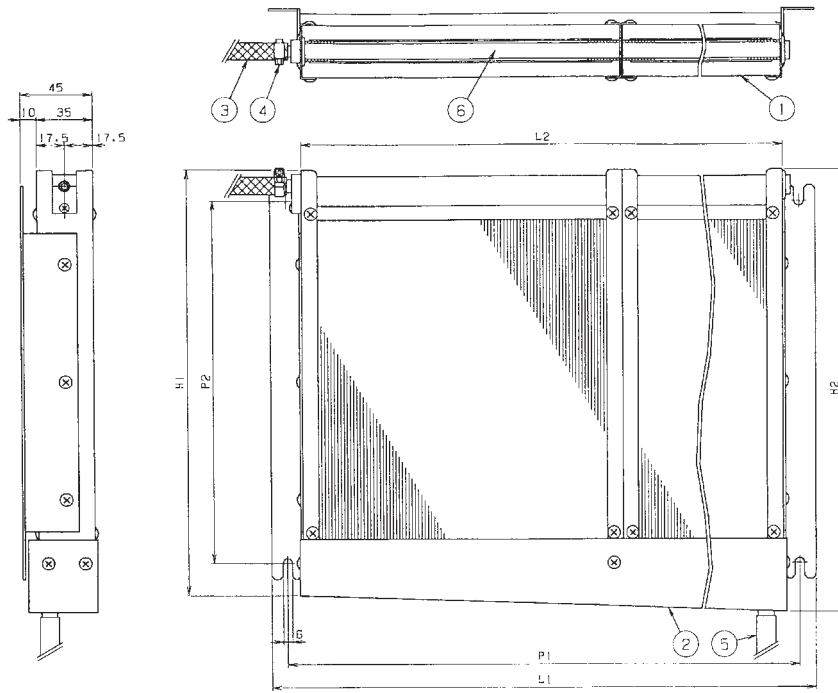
適用機種		355・450形	
加湿器品番		RH-EN60T	RH-EN120T
加湿性能	kg/h	6	12
給水量*1	L/h	19.2~20.6	40.8~43.6
能力条件	コイル面風速	2.5m/s	
	通過空気温湿度	40℃・15%RH	
電源電圧		単相 AC200V 50/60Hz	
定格消費電力		10W	
製品質量(重量)	kg	4.5	6.5
使用条件	周辺温湿度	加湿器本体 : 5~60℃ 90%RH以下	
	給水水質	給水ユニット : 5~40℃ 80%RH以下	
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水	
	給水圧力	0.05~0.5MPa	
	給水温度	5~40℃	
備考		*1)給水量は給水圧力範囲(0.05~0.5MPa)において0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。	

※加湿器性能は能力条件により変化します。上記条件と異なる場合は補正が必要になります。室内ユニットが暖房標準、標準風量で運転する場合の加湿性能(有効加湿量は) 355:4.3/8.5 450:5.3/10.6です。(適用機種: RH-EN60T/RH-EN120T)

※加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。

公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品: 現地調達)をご使用ください。

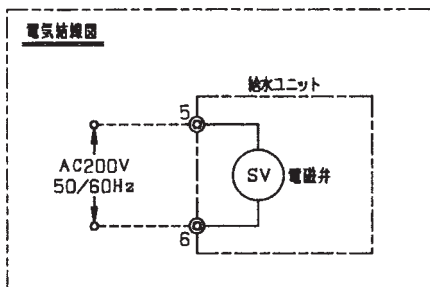
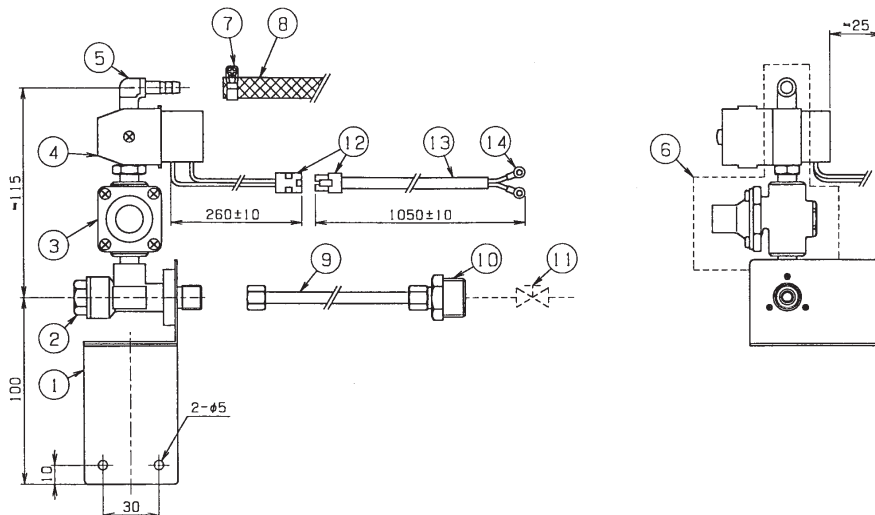
■外形寸法図



適用機種	加湿器品番	L1	L2	H1	H2	P1	P2
355形	RH-EN60T	840	800	270	285	820	230
450形	RH-EN120T	1240	1200	345	370	1220	305

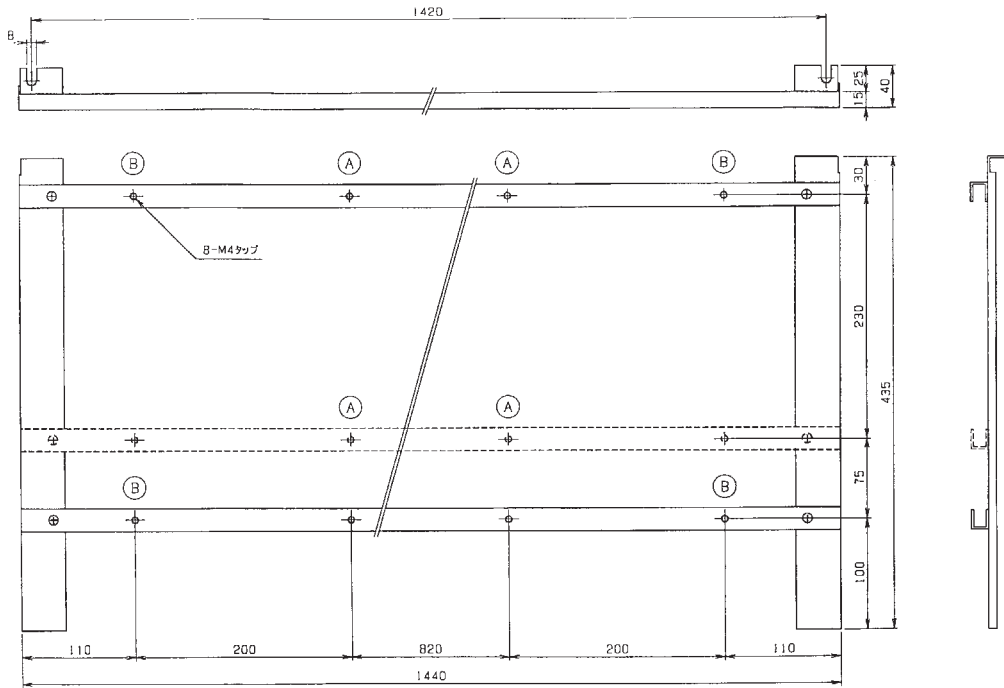
番号	部品名	仕様
①	加湿材	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	φ6×φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	φ11×φ16×2m
⑥	給水ヘッダー	銅管

■給水ユニット外形寸法図：RH-EN60T・12



番号	部品名称	仕様	番号	部品名称	仕様
①	固定金具	SGCC t2	⑧	給水ホース	φ6×φ11 1.5m
②	給水ストレーナー-T型		⑨	給水軟銅管	φ6.35 2m
③	減圧弁		⑩	給水継手	1/2B おねじ
④	給水用電磁弁	AC200V	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	Lコネクタ
⑥	断熱弁		⑬	接続コード	VCTF0.75mm ² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN60T・120T 用



- ※現地組立てとなります。(ビス4本使用)
- ※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、ユニット内に取り付けてください。
- ※図はRH-EN120Tを取り付ける状態を示します。
RH-EN60Tを取り付ける際には、下部ステーを点線位置にしてください。

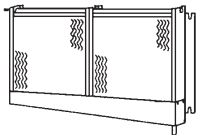
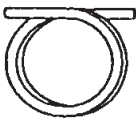


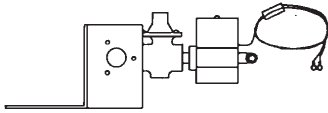

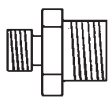
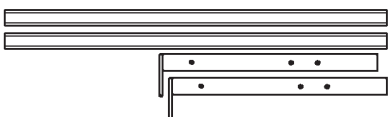
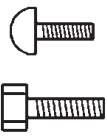
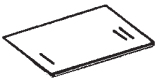
- ・ブラケット：SGCC t2
- ・付属ビス：トラスビス M4×8L (SUS)

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
355形	RH-EN60T	Ⓐ4ヵ所
450形	RH-EN120T	Ⓑ4ヵ所

■取付方法

●付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

部品名称	形状	個数	備考
①加湿器本体		1	
②給水ホース		1	半透明、1.5m
③排水ホース		1	黒色、2m
④給水ホース用 ホースバンド		2	
⑤給水ユニット		1	給水ストレーナー、減圧弁、給水用電磁弁、固定金具 電磁弁コード1.3m
⑥給水軟銅管		1	φ6.35×2m
⑦給水継手		1	1/2Bおねじ
⑧取付ブラケット		一式	
⑨取付ビス		8 4	M4ビス M6ビス
⑩取扱説明書		1	

■取付上の注意

(1) 加湿器本体の取付

- 取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。
(図-1 参照)
- 組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。
(図-2 参照)
- 加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。ホースバンドは不要です。
- 室内ユニットの吸込口および上部前面パネルを外します。室内ユニットのコイル2次側に、組み立てた加湿器本体を組み込みます。
(図-3参照)
室内ユニットのコイルフランジにスライドさせるようにして、取り付けブラケット下部をコイルフランジの突起金具に引っかけてください。また取り付けブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。
- 加湿運転中は排水ホースから常時少量のドレン水が流れます。確実に排水が行われるように排水ホースを適度な長さにカットして、ホース先端が必ずドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。

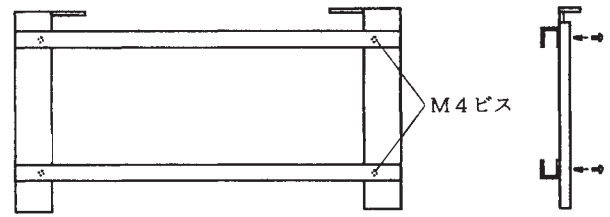


図-1 取付ブラケット

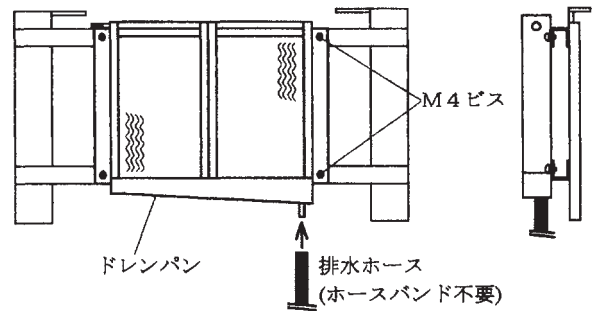


図-2 加湿器本体の取付

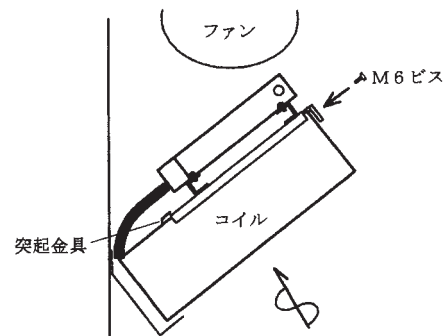


図-3 加湿器本体の組込

【注】 加湿器本体を室内ユニットへ組み込む際、コイルフィンの破損にご注意ください。

(2) 給水ユニットの取付

- エアコン内部のサーモスタット固定金具のビス2本を外してください。
- 取り外した2本のビスを使用してサーモスタット固定金具と給水ユニットを共締めしてください。(図-4 参照)

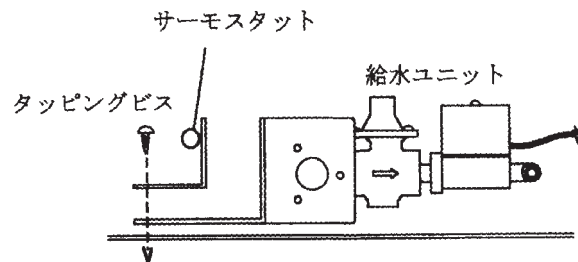


図-4 給水ユニットの取付

(3) 給水ホース／給水軟銅管の接続

- 加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで確実に固定してください。
- 給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホース口に差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際給水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。

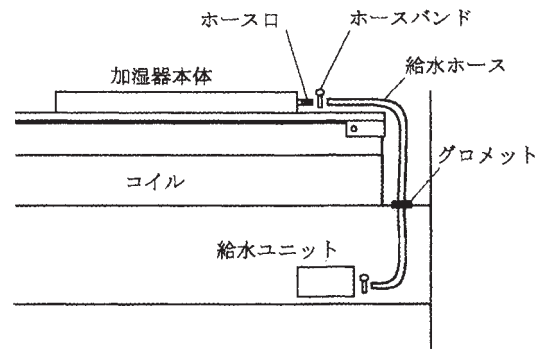


図-5 給水ホース／給水軟銅管の接続

(図-5参照)

- 給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント形式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N・m程度としてください。

【注】軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください・漏水の原因となることがあります。

- 現地の加湿器用給水配管と給水軟銅管の接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して必ず配管のフラッシングを実施してください。

(4) 給水配管について

- 給水には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- 給水サービス弁（現地手配）を必ず各加湿器（エアコン）ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

(5) 電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコンの制御盤内の端子台5，6番に接続してください。

■運 転

1. 施工後初めての運転

- 給水配管に設けてある給水サービス弁が開いていることを確認してください。
- エアコンを暖房運転すると、加湿器が自動的に運転します。

2. 日常の運転管理

- 加湿器の運転はエアコンに連動しますので、加湿器の運転スイッチ等は特に設けていません。

3. 加湿休止期の処置

- 加湿のオフシーズンには、給水配管に設けてある給水サービス弁を閉めてください。
- シーズンオフ時およびシーズンイン時には、それぞれ必要な保守作業を必ず実施してください。
- シーズンイン時には忘れずに給水サービス弁を開け、試運転を行って漏水の無いことを確認してください。

仕様と据付 (床置プレナム形 S1/S2)

●パン形加湿器 (RH-K3N・K4N・K5N・K6N)

■適用機種

	RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
適用機種	S-G224BE形 S-G224BD形	S-G280BE形 S-G280BD形	S-G355BE形 S-G355BD形 S-G450BE形 S-G450BD形	S-G355BE形 S-G355BD形 S-G450BE形 S-G450BD形 S-G560BE形※ S-G560BD形※ S-G900BD形※ S-G1120BD形※ S-G1400BD形※

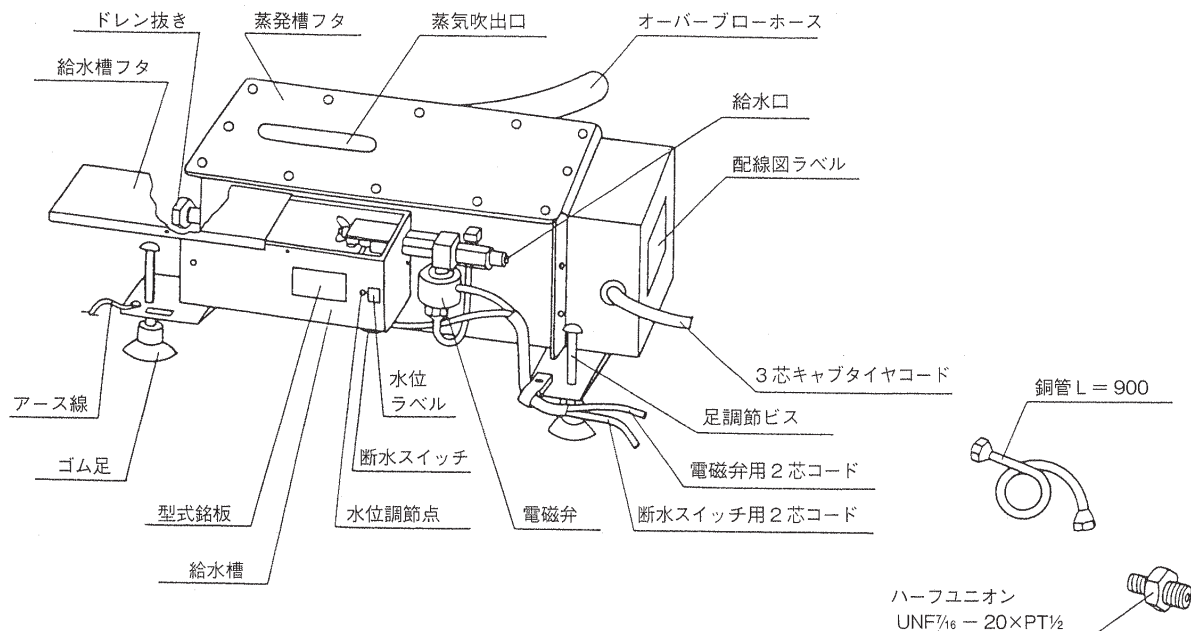
※操作用のWIRE-K(特注手配)が別途必要です

■仕様

形名		RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
加湿能力	kg/h	3.9	5.2	6.5	7.8
電気特性	電力 kW/h	3	4	5	6
	電圧 V	3φ 200V			
	電流 A	8.7	11.6	14.5	17.4
	結線方法	△			
寸法	長さ mm	371	501		
	奥行き mm	192			
	高さ mm	175			
製品重量	kg	4.6	5.8	6.3	
安全装置	1次	断水スイッチ		水位低下による操作回路OFF	
	2次	サーマルカットアウト		150℃±15℃にて主回路しゃ断	
	3次	温度ヒューズ		119℃にて主回路しゃ断	
付属品	1	取扱説明書			1部
	2	鋼管φ6 (フレアーナット付) L=900mm			1本
	3	ハーフユニオン UNF7/16×PT1/2			1個
	4	コントロールボックス (5時間タイマー組み込み型)			1個
	5	操作コード2芯×1.7m			1個
	6	取付金具 左右			1本
	7	取付用板 (RH-K3Nのみ)			各1個
	8	φ4×8タッピンねじ (RH-K3Nの時)		(1個予備)	15個
		φ4×8タッピンねじ (RH-K4N~K6Nの時)		(1個予備)	13個
備考	湿度調節は現地手配です (加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です)。				

- ・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

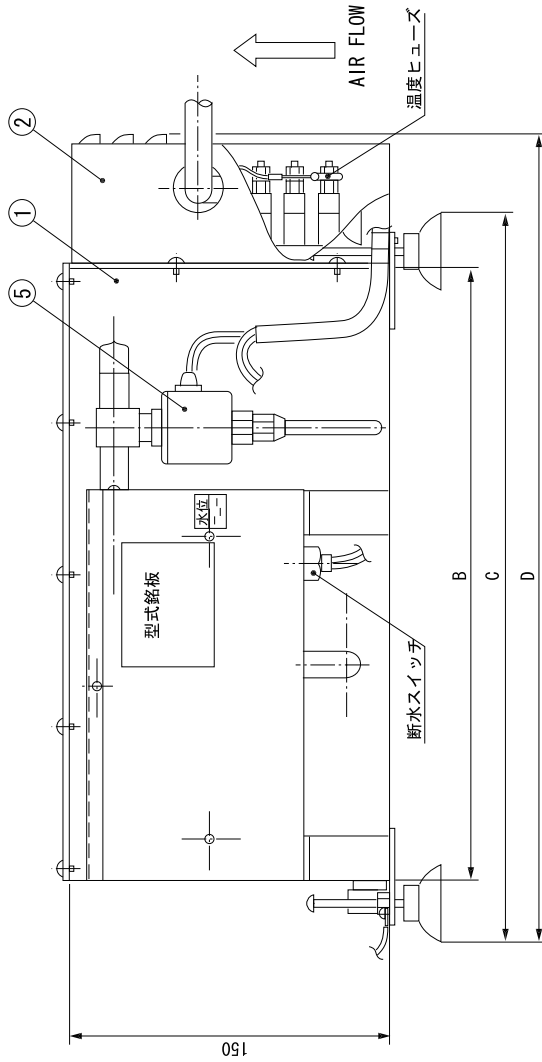
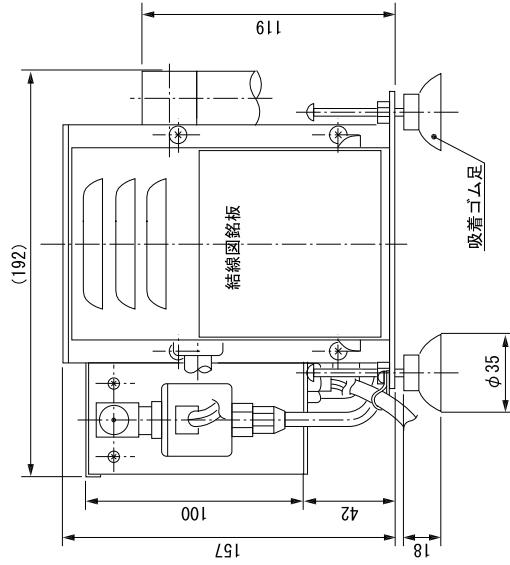
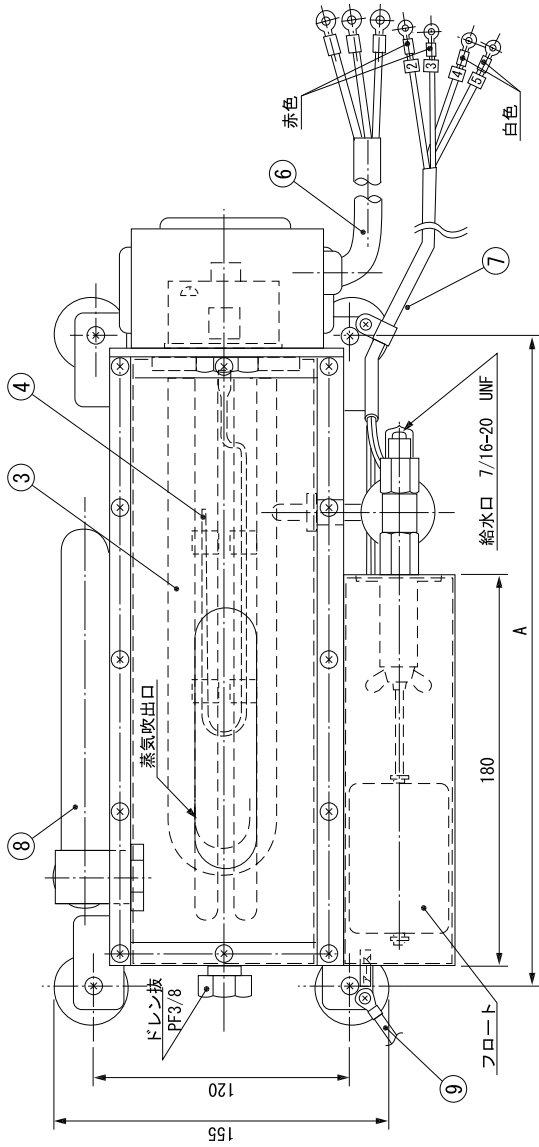
■部品構成



■外形寸法図

番号	品名	個数	仕様
1	水槽	1	18-8 ステンレス鋼
2	電装箱	1	"
3	シーヒーター	1	プラグ型 Cut NI メッキ
4	過熱防止装置	1	サーマルカットアウト AS-3A型
5	洗浄用電磁弁	1	
6	主回路電線	1	3芯キャブタイヤ ~3kW L=1.5m ~6kW L=2m
7	保護回路電線	2	2芯コード ~3kW L=1.5m ~6kW L=2m
8	オーバーフローホース	1	EPゴム L=500
9	アース線	1	HIV線 1.25mm ² L=500

形名	A	B	C	D
RH-K3N	300	280	335	371
RH-K4N				
RH-K5N	430	410	465	501
RH-K6N				



注意 使用補給水圧 0.029~0.49MPa
補給水温 0~80℃